

文献収集

手入力不要
書誌情報・PDFの取込

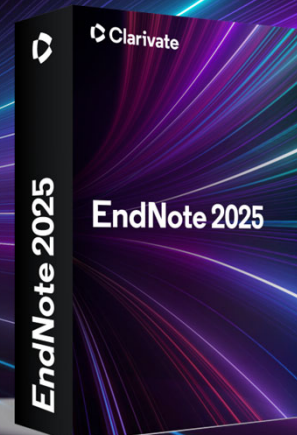
文献管理

グループ機能で整理
キーワードで文献検索

参考文献リスト作成

ドラッグ&ドロップするだけでリストを自動作成
投稿先変更時もジャーナル規定に一発変換

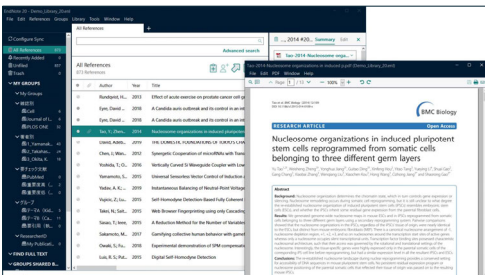
論文作成・研究をサポート EndNote 2025 新登場!!



1988年の発売開始から37年、EndNoteの基本機能

文献情報の収集・管理

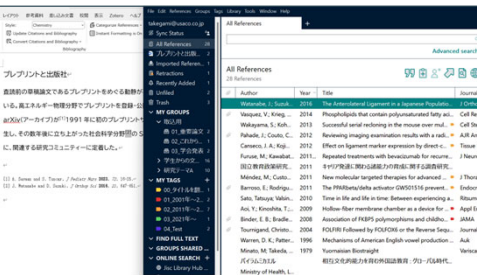
PubMedや医中誌Web、Google Scholarなどのオンラインデータベースから書誌情報を簡単にダウンロードできます。また、EndNote上の文献情報にフルテキストPDFや様々なファイルを紐づけて一元管理できるので、必要な時に必要なPDFをすぐ閲覧できます。文献情報からフルテキストPDFを取得、フルテキストPDFから文献情報を取得するのも、簡単です。



文献情報を管理し、取り込んだPDFは本文および入力したメモもキーワードで検索可能

参考文献リスト作成

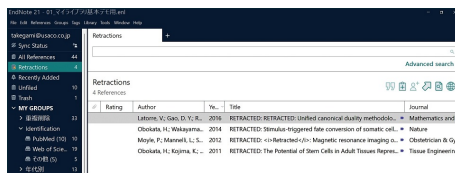
EndNoteに保存された文献情報を、Wordへドラッグ&ドロップするだけで簡単に参考文献リストを作成できます。本文中の引用表記を削除したり、順番を入れ替えたりしても、自動的に引用番号を修正します。後から投稿先を変更する場合も、ジャーナル名を選択するだけで、作成済みの参考文献リストの体裁を変更できます。8,000種類以上のジャーナルの投稿規定に対応しています。



和文・英文混在の参考文献リスト作成や、化学系雑誌に対応した(1a, 1b)のようなグループ引用形式も可能

Retraction Alert 機能

ライブラリ内に撤回された論文がある場合に自動で検知できます。撤回論文を誤って引用してしまう危険を未然に防ぎます。



Retraction Alert機能により撤回された論文を表示

研究業績データの管理ツール

実績をEndNoteで管理し、予め設定した任意のフォーマットでデータをExcelへ出力できます。

○○業績一覧(例)							
著書	タイトル	雑誌名	発行年	巻(号)	ページ	WOS ID	国際共著
Hisose S, Otsuka T	Lateral-Medial Dis...	Frontiers in Human	2016		10	WOS:003765901000002	

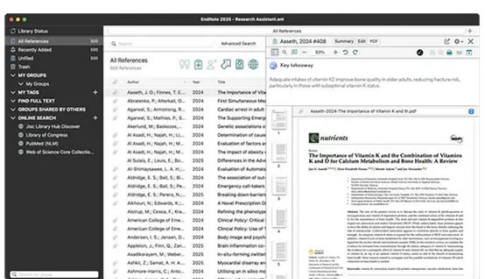
Excelへ出力された業績管理フォーマットの一例

進化し続ける、EndNote 2025の新機能 その1

次頁もご覧ください

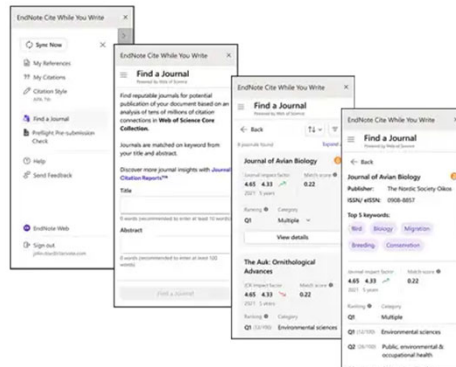
AIが論文の要点を抽出

生成AIが論文から重要なポイントや要点を自動抽出。個々の論文PDFから主要な洞察や要点を抽出することで論文の内容を短時間で把握し、文献調査の時間節約をサポートします。ご自身の研究テーマとの関連性も素早く判断できます。



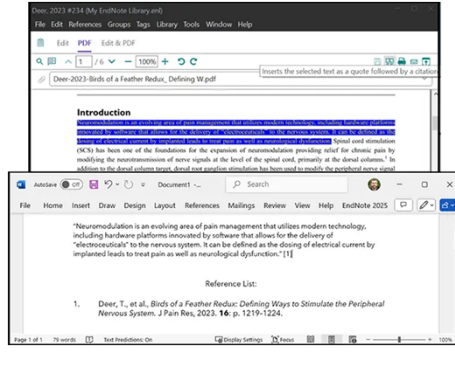
新しい投稿ジャーナル推薦機能

Cite While You Write プラグイン内で利用可能な機械学習ツールで、論文に最適なジャーナルを提案します。論文投稿プロセスにおいて、適切なジャーナルを効率的に見つけるのに役立ちます。



PDFから簡単引用

参考文献(PDF)につけた強調表示とその参考文献の引用を、ボタンをクリックするだけで作成中の論文に挿入できます。PDFを直接参照しながら執筆する際の引用作業が大幅に効率化されます。



EndNote 2025 ダウンロード版

注文番号	ラインアップ	税込組価	本体価格	消費税
YU100GE	新規ライセンス	62,700円	57,000	5,700
667487	アップグレード	26,400円	24,000	2,400

EndNote 21 パッケージ版 2025への無償アップグレード対象

注文番号	ラインアップ	税込組価	本体価格	消費税
YU100BR	新規ライセンス 大学生協版	61,600円	56,000	5,600
663076	アップグレード	28,600円	26,000	2,600
663038	まとめ買い3本以上(1本あたり)	53,900円	49,000	4,900
YU100BT	新規ライセンス 学生版	24,750円	22,500	2,250

2025年5月15日 2025ダウンロード版が新登場!!
最新情報はWebをご覧ください(随時、情報更新しています)。

パッケージ版発売時期

無償アップグレード詳細

大学生協ソフト EndNote

検索

ご注文やお見積依頼はこちらから
<https://software.univcoop.or.jp/item/16169>

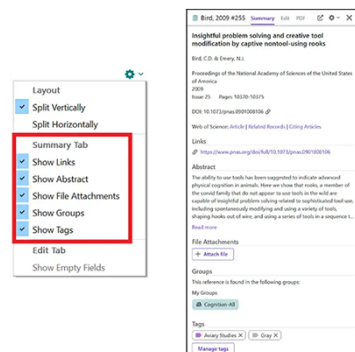
※ 2025年5月15日現在の情報です。
価格や掲載情報は変更となる場合があります。



進化し続ける、EndNote 2025の新機能 その2

サマリーパネルのデザインを刷新

新しくなったサマリーパネルで、文献情報をすっきりと表示。表示したい詳細レベルを設定でき、項目ごとに整理されたフォーマットで、論文のキーポイントを直感的に読み取れます。



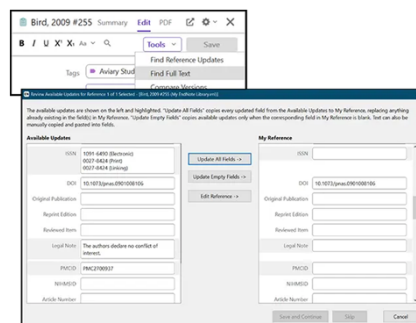
Web of Science連携による引用文献・関連文献の発見

Web of Science の契約がある場合、自身の参考文献を引用している論文や関連性の高い文献を確認できるようになり、より包括的な文献調査が可能になります。新たな関連文献を発見し、研究の幅を広げるのに役立ちます。



Find Reference UpdateとFind Full Text機能の改善

書誌情報の不足や誤りを修正するFind Reference Updateと、入手可能な論文PDFをダウンロードするFind Full Textが、サマリーパネルから利用できるようになりました。文献情報の正確性の維持・確認がよりスムーズに行えます。



EndNote X9～2025 バージョン別 機能比較表

最新版はここが違う！ お持ちの製品と比べてください	X9	20	21	2025
世界中の研究者に愛される文献管理・論文作成支援機能	○	○	○	○
時間を節約し、整理して、より速く書くことができる機能				
AIが論文の要点を抽出				○
投稿ジャーナル推薦機能				○
PDFから直接引用				○
サマリーパネルのデザインを刷新				○
Web of Science連携による引用文献・関連文献の発見				○
Find Reference UpdateとFind Full Text機能の改善				○
蓄積したレファレンスを管理するための便利な機能				
ユーザーのライブラリが失われたり破損したりした場合にライブラリを復元			○	○
単一の参照レコードを復元			○	○
タグをつけ、ライブラリやグループ全体の参照を整理可能			○	○
Retraction Alertsでライブラリ内に撤回論文がある場合に自動で検知		○	○	○
DOIやPMCIDによる重複レコードの検索・削除		○	○	○
最近追加したレファレンスを、期間を指定して表示 ^{※1}	○	○	○	○
ライブラリ内検索で検索語句をハイライト	○	○	○	○
ユーザーインターフェース				
新しいインターフェース		○	○	○
文献の基本情報を表示できるサマリー表示機能		○	○	○
簡易検索と詳細検索の表示切り替え		○	○	○
複数ページで同時作業可能なタブの切り替え		○	○	○
CWYWの拡張				
Cite While You WriteがGoogle DocsとWord Onlineの統合された文書作成ツールへ拡張			○	○
【同期】EndNote オンラインとの同期機能				
同期用ウェブアカウントを作成可能	○	○	○	○
同期用ウェブアカウントに添付できるファイル容量の上限	無制限	無制限	無制限	無制限
【共有】文献情報を他のユーザーと共有する機能				
ライブラリ全体を最大1,000名のEndNoteユーザーと共有	最大100名まで	最大400名まで	○	○
グループ単位で、レファレンス情報を他のユーザーと共有 ^{※2}		○	○	○
共有ライブラリの編集履歴をアクティビティログで閲覧 ^{※3}		○	○	○
テクニカルサポート				
正規テクニカルサポートサービス	○	○	○	○

※1 期間は、直近の24時間、7日、14日、30日から選択可能です。

※2 添付ファイルの共有は不可です。

※3 グループ単位の共有は不可です。

EndNote X9以前は、Windows 11の動作保証対象外です EndNote 20以前は、macOS 15.xの動作保証対象外です

バージョン	発売年月	対応OS/Win	対応OS/Mac
EndNote 2025	2025年5月	Win11、Win10(32/64bit)	macOS 15、14、13、12、11
EndNote 21	2023年6月	Win11、Win10(32/64bit)	macOS 15、14、13、12、11
EndNote 20	2021年1月	Win11、Win10(32/64bit)	macOS 13、12、11
EndNote X9	2018年8月	Win10(32/64bit) ※	※

※ Windows 8.1・macOS 10.15以下は、Microsoft社・Apple社がサポートを終了した為、サポートおよび保証対象外です。

システム要件

	Windows	Mac
CPU	1GHz以上	IntelプロセッサまたはAppleシリコン搭載のMacintosh ※ 但し、Appleシリコン搭載のMacintoshに正式対応しているのはEndNote 20.1以降のバージョンです。
RAM容量	2GB以上	2GB以上
HD空容量	600MB以上	700MB以上

初めて使う方も安心 充実したサポート

EndNoteを使ったことが無い方
無料の文献管理ソフトを使っている方
**30日間無料トライアルを
お試しください**

- EndNoteの基本機能を30日間試せます。
- トライアル版は、製品購入後プロダクトキーを入力するだけで製品版に移行できます
- トライアル版で作成したデータは、製品購入後そのまま引き継ぎます。

<https://software.univcoop.or.jp/item/16169>



ユサコサポート担当者が
一緒に画面を確認します
**Web会議システムを
利用した画面共有
サポートで問題解決**



- お客さまのPCに表示されている画面をサポート担当者が一緒に確認しながら、EndNoteの操作に関するさまざまなお問合せにお答えするサービスです。
- 画面を共有することで状況の把握が容易になり、電話やメールサポートよりも効率的にお問合せできます。
- ユサコ社への会員登録とシリアル番号登録が必要
- 最新版と2つ前までのバージョンが対象
- ZoomまたはGoogle meetを使用

論文を掲載するジャーナルにあった対応
**8,000種類以上のアウト
プットスタイルが使えます**

- EndNoteは投稿規定に沿った参考文献リストの体裁に一発変換することが可能です。
- ユサコユーザー専用ページにて、これまでにご要望いただいた和文誌・英文誌などの1,000誌を超える各種OutputStyleを掲載・提供しています。
- 希望スタイルがない場合、ユサコまたは開発元サイトからダウンロード可能です。
- 既存のスタイルになかった場合、無料作成可能(和文誌も対応) ※ユサコへのユーザ登録が必要です